

2021年度 第2四半期決算と 通期業績予想

2021年11月16日
日本軽金属ホールディングス株式会社

1. 2021年度 第2四半期決算

2. 2021年度 連結業績予想

3. 中期経営計画の進捗

第2四半期決算 — 前年同期比

(億円)

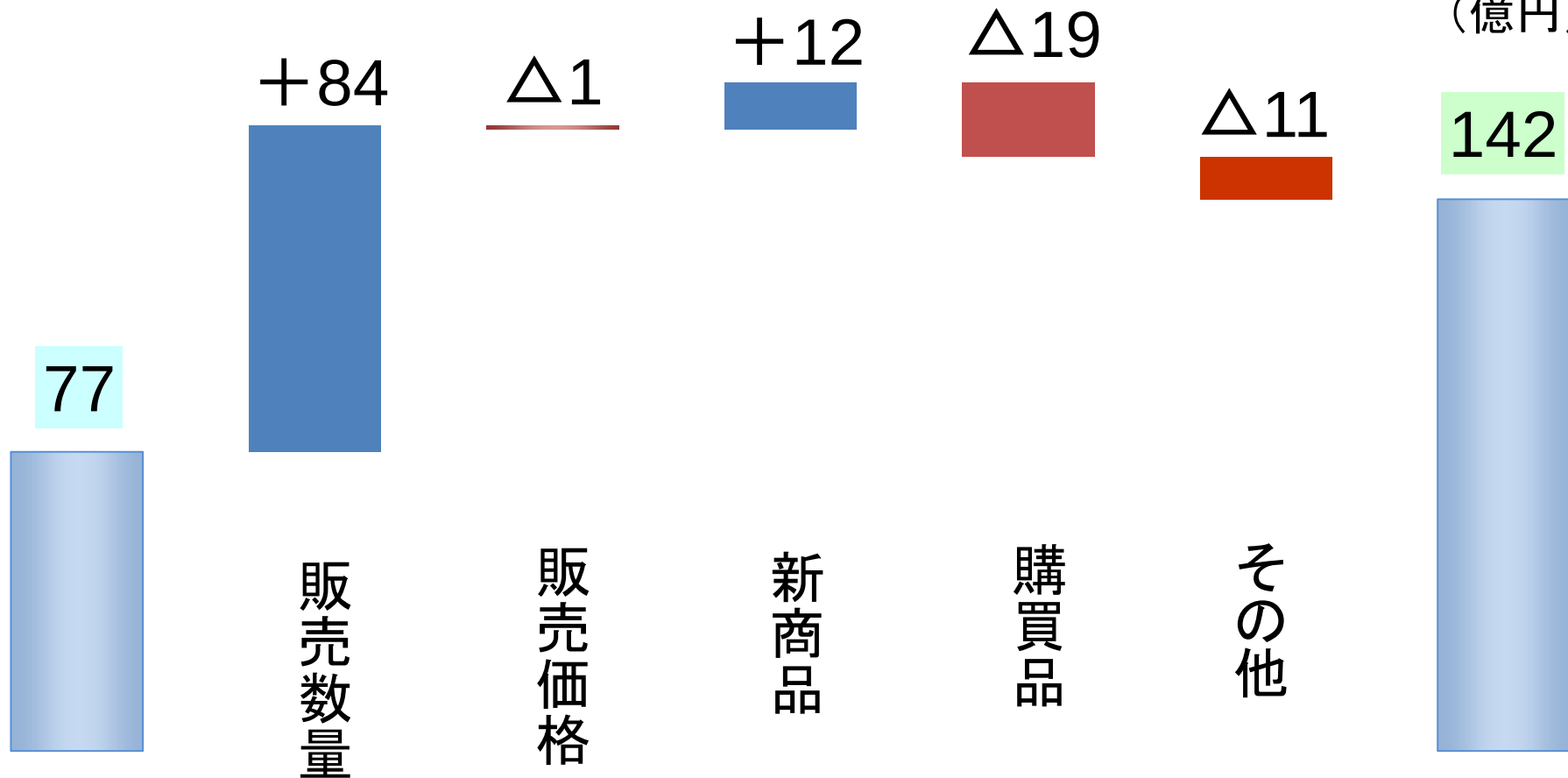
	2021/4-9 実績	2020/4-9 実績	増減
売上高	2,360	1,985	+375 (+18.9%)
営業利益	140	79	+61 (+77.8%)
経常利益	142	77	+65 (+85.5%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	108	47	+61 (+129.1%)
1株当たり配当金	40円	—	—

経常利益変化要因 – 前年同期比

2020/4～9
実績

+65億円

2021/4～9
実績
(億円)



セグメント情報 — 前年同期比

(億円)

	売上高			営業利益		
	2021/4-9 実績	2020/4-9 実績	増減	2021/4-9 実績	2020/4-9 実績	増減
アルミナ・化成品、 地金	601	388	+213 (+54.7%)	75	43	+32 (+73.2%)
板、押出製品	580	449	+131 (+29.3%)	47	14	+33 (+229.6%)
加工製品業 関連事業	746	736	+10 (+1.4%)	21	27	△6 (△22.1%)
箔、粉末製品	433	412	+21 (+5.1%)	14	11	+3 (+34.9%)
管理・共通	—	—	—	△17	△16	△1
合計	2,360	1,985	+375 (+18.9%)	140	79	+61 (+77.8%)

目次

1. 2021年度 第2四半期決算

2. 2021年度 連結業績予想

3. 中期経営計画の進捗

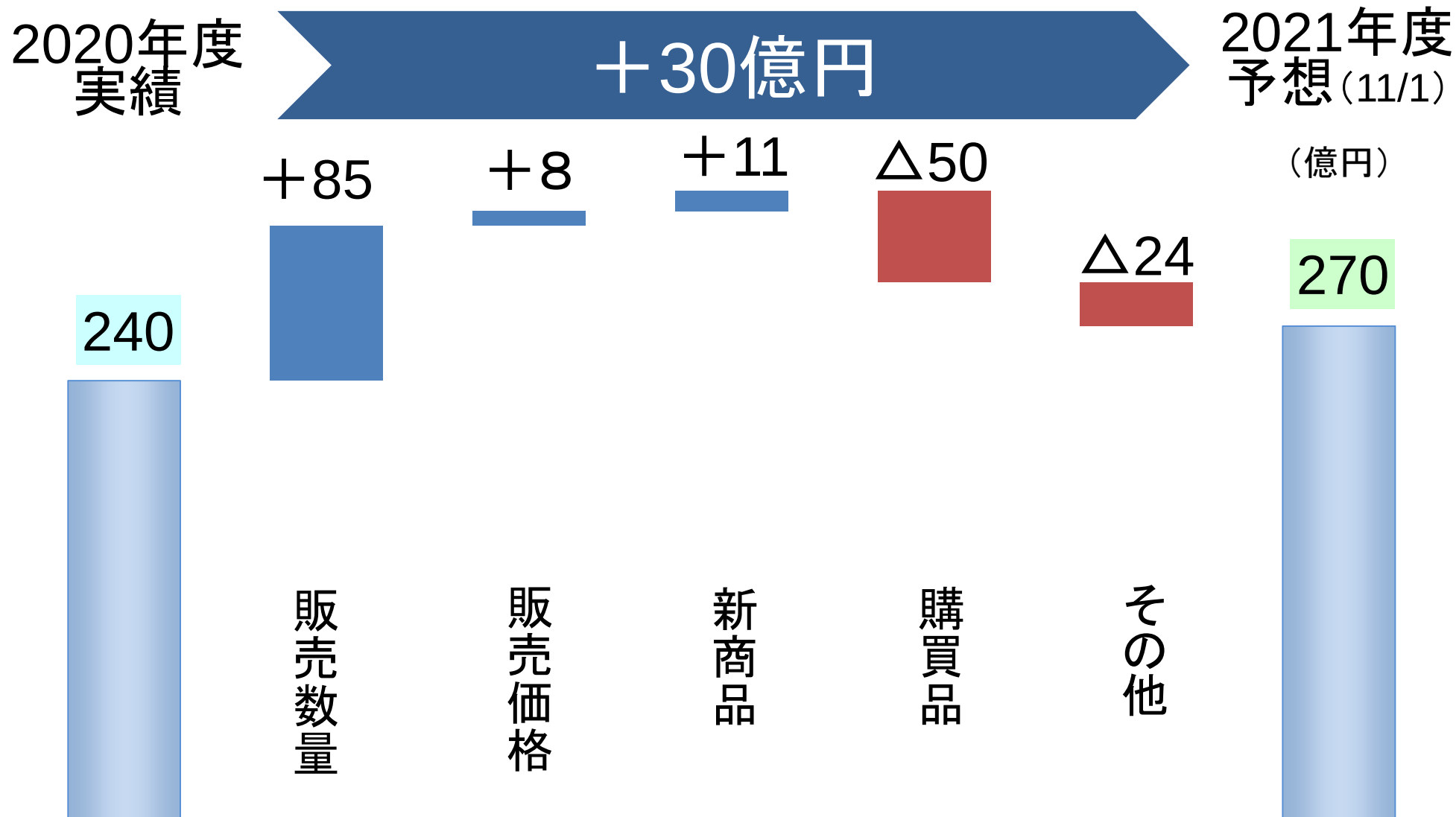
通期業績予想 — 前期比

(億円)

	2021年度 予想 (11/1)	2020年度 実績	増減
売上高	4,700	4,326	+374 (+8.7%)
営業利益	270	242	+28 (+11.6%)
経常利益	270	240	+30 (+12.4%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	180	34	+146 (+434.8%)
1株当たり配当金	85円(※)	65円	—

※中間実績40円/株・期末予想45円/株

経常利益変化要因 – 前期比

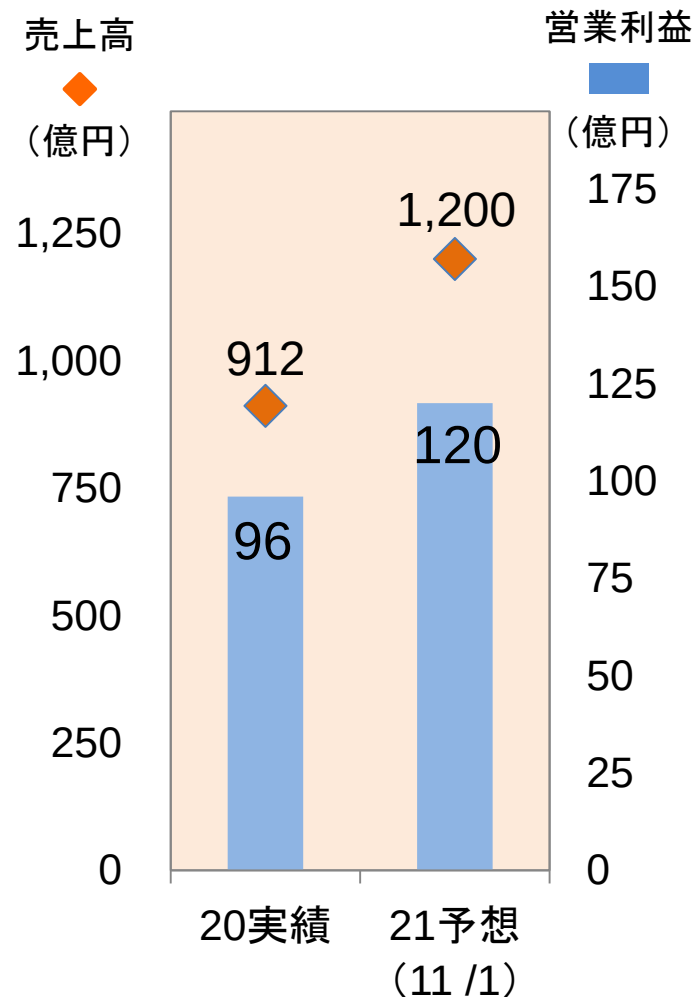


セグメント情報 — 前期比

(億円)

	売上高			営業利益		
	2021年度 予想 (11/1)	2020年度 実績	増減	2021年度 予想 (11/1)	2020年度 実績	増減
アルミナ・化成品、 地金	1,200	912	+288 (+31.6%)	120	96	+24 (+24.8%)
板、押出製品	1,070	979	+91 (+9.4%)	85	60	+25 (+42.9%)
加工製品 関連事業	1,530	1,573	△43 (△2.7%)	75	89	△14 (△15.7%)
箔、粉末製品	900	862	+38 (+4.4%)	30	33	△3 (△9.4%)
管理・共通	—	—	—	△40	△36	△4
合計	4,700	4,326	+374 (+8.7%)	270	242	+28 (+11.6%)

アルミナ・化成品、地金



アルミナ・化成品

- 水酸化アルミニウム：セラミックス・耐火材向けの販売好調継続も、下期原料価格の動向を注視

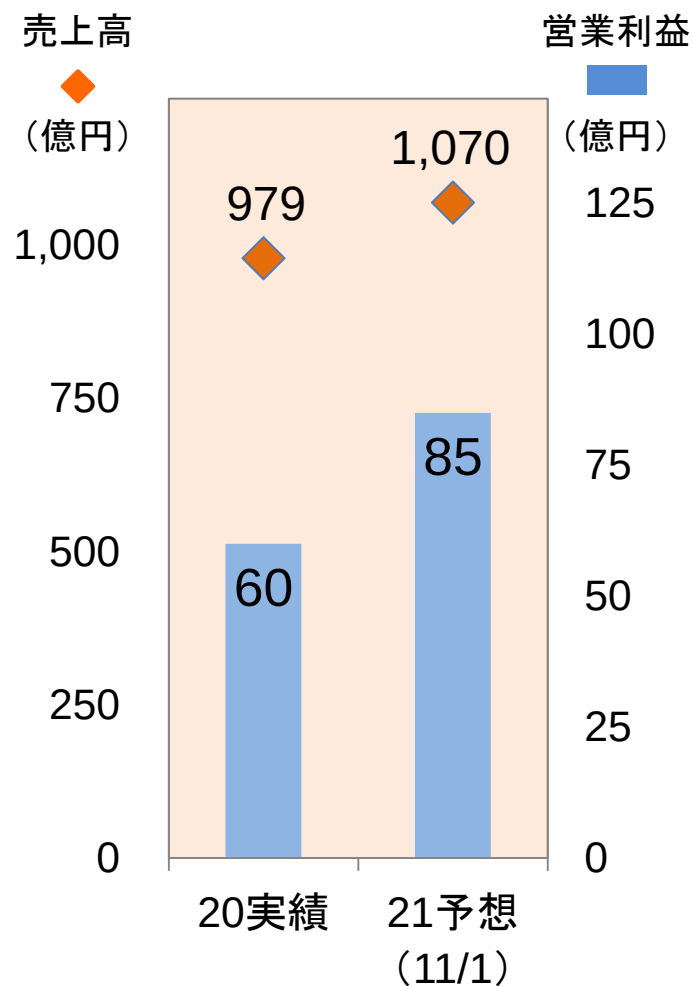
日軽エムシーアルミ

- 市場環境：国内外ともに前年下期からの需要回復基調は継続も、自動車減産の影響を懸念
- 中国影響：販売面は中国製汎用品流入減で日本・タイで増販も、電力不足による工場稼働制限はリスク

日軽エムシーアルミ販売量 (千トン)

	21年度 上期			21年度 下期			21年度 合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
国内	67.5	42.9	+57%	71.1	69.2	+3%	138.6	112.1	+24%
海外	68.1	52.6	+29%	73.2	77.3	△ 5%	141.3	129.9	+ 9%
合計	135.6	95.5	+42%	144.3	146.5	△ 2%	279.9	242.0	+16%

板、押出製品



板

■ 半導体関連 : 半導体・液晶製造装置の投資需要は依然高く、厚板の販売好調は維持

■ 電池関連 : リチウムイオン電池用部材は堅調に推移

板事業部販売量 (千トン)

	21年度 上期			21年度 下期			21年度 合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
	35.3	33.4	+ 6%	39.3	35.5	+ 11%	74.6	68.9	+ 8%

日軽金アクト

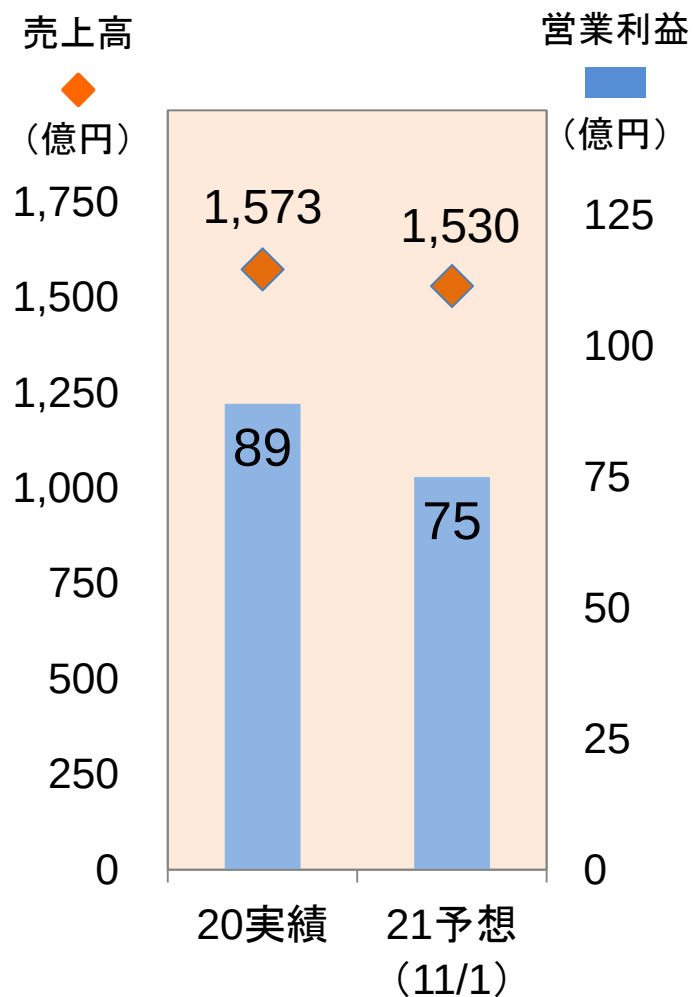
■ 自動車関連 : 半導体等部品の供給不足に伴うサプライチェーン停滞による自動車減産の影響を懸念

■ 輸送関連 : 鉄道向けは堅調維持、トラック向けは上期からのシャシー減産や部品不足の影響を注視

日軽金アクト販売量 (千トン)

	21年度 上期			21年度 下期			21年度 合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
	18.6	17.1	+ 9%	18.9	19.2	△ 2%	37.5	36.3	+ 3%

加工製品、関連事業



日本フルハーフ

- 販売：シャシー生産減によるトラックメーカー向け完成車の販売減が継続
- コスト：アルミニウム等材料価格高騰の影響は下期も継続

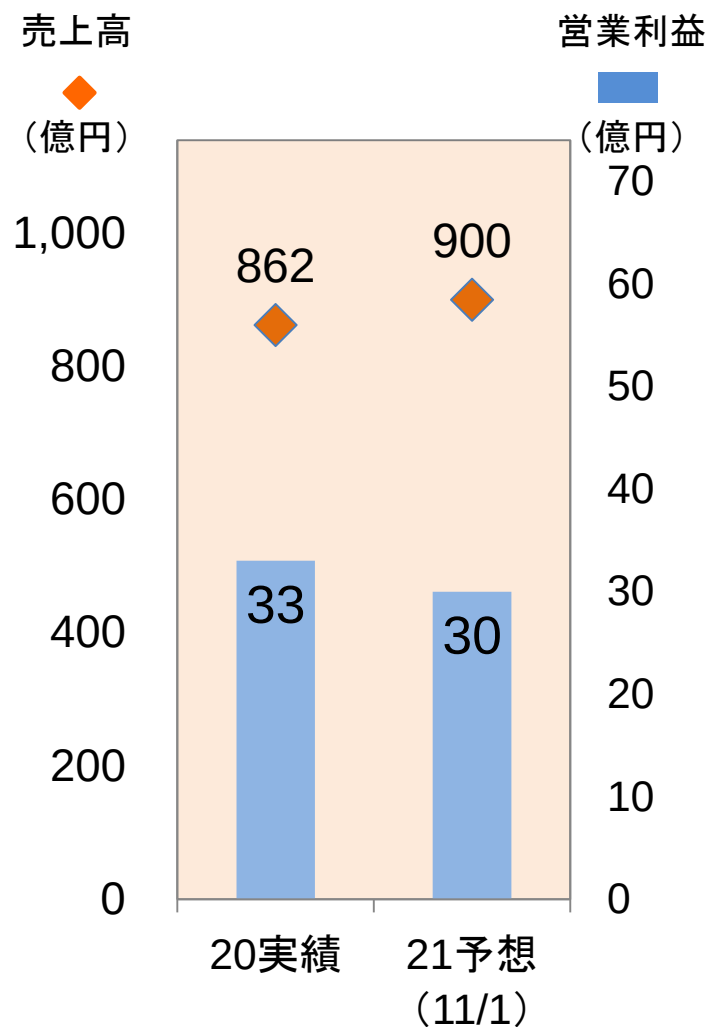
日軽パネルシステム

- 冷凍・冷蔵分野：食品工場、流通倉庫向け受注・着工回復
- クリーンルーム：半導体工場向け需要活況で受注増加傾向
- コスト：鋼板価格高騰の影響継続を懸念

日軽エンジニアリング

- 公共事業：道路・橋梁向け、構造物ともに堅調に推移も五輪需要終了で一服感

箔、粉末製品



東洋アルミニウム

<箔事業>

- リチウムイオン電池外装用箔：車載向けを中心とする上期からの好調な需要は継続
- 医薬品向け加工箔：医療機関受診減の影響は通期継続見込み

<パウダー・ペースト事業>

- 電子材向け粉末製品：放熱用途の堅調な需要は維持
- 自動車塗料向け：上期好調も下期は自動車減産による影響を懸念

<日用品事業>

- コンシューマー向け：ハウスクエア用品は下期も好調継続
- パッケージ用品向け：アルミニウム・紙価格高騰によるコストアップ影響が続く見込み

目次

1. 2021年度 第2四半期決算

2. 2021年度 連結業績予想

3. 中期経営計画の進捗

中期経営計画基本方針

チーム日軽金として異次元の素材メーカーへ

<基本方針>

1. 新商品・新ビジネスの創出

- グループ連携の強みを徹底的に追求し、すべての顧客の新しい価値を創造
- ものづくりを核としサプライチェーン全体を通じた商品・ビジネス開発

2. 成長に向けた資源投入

- グループの強みを活かせる分野・地域へより積極的に資源を投入
- ビジネスに応じた俊敏な組織運営と外部資源の活用

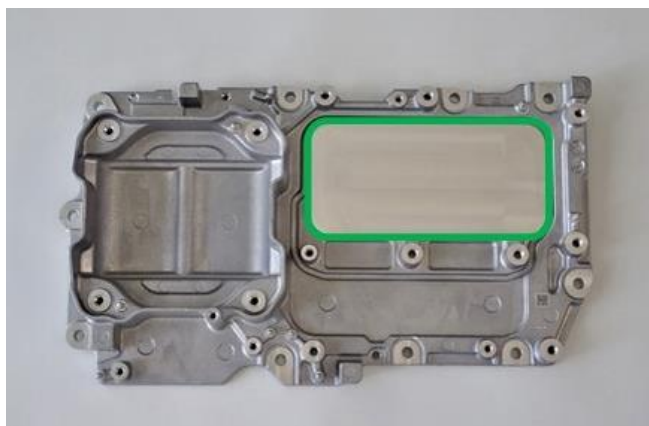
3. 経営基盤強化

- 安全優先とコンプライアンス・品質遵守の徹底
- 持続的な企業価値向上のための人財拡充

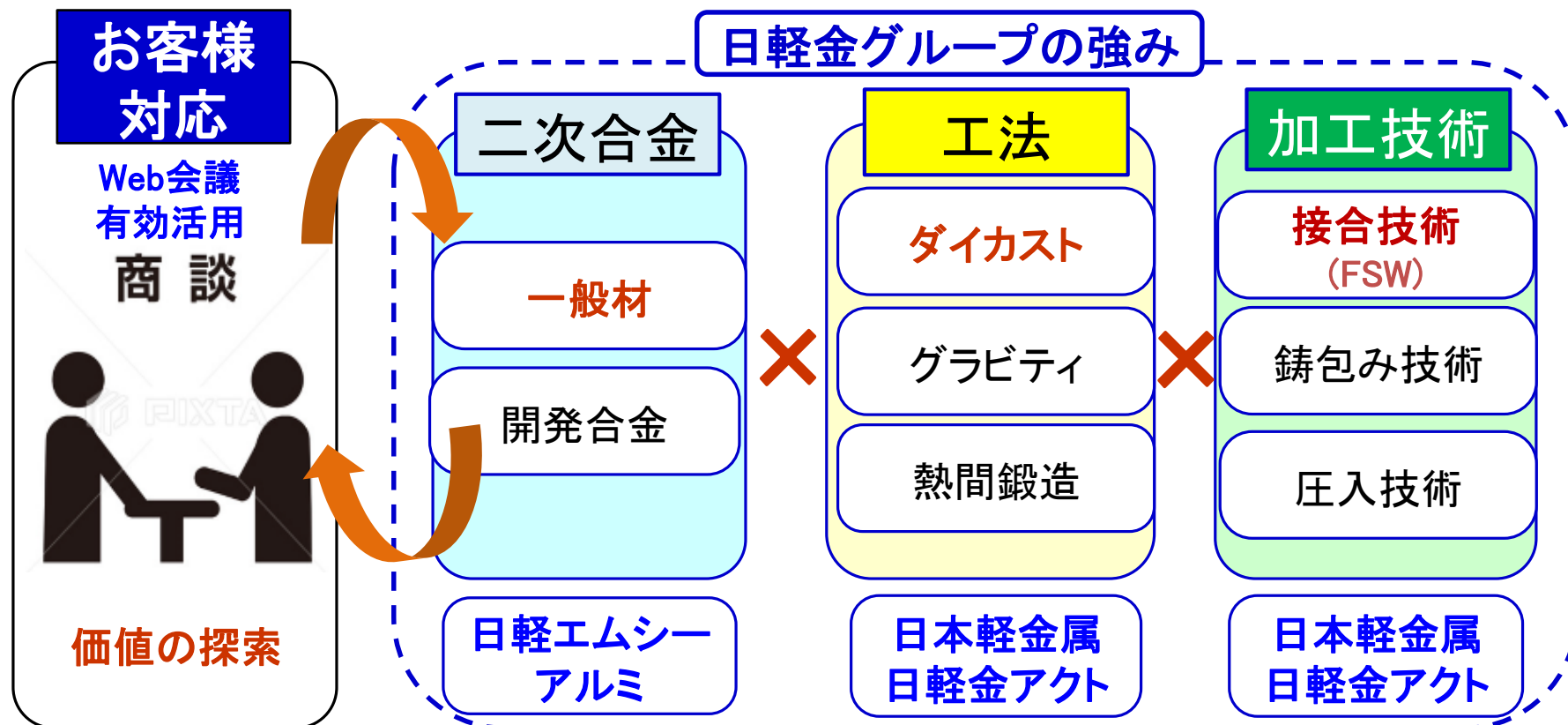
チーム日軽金で、お客様目線の高付加価値を実現

日本軽金属・日軽エムシーアルミ
・日軽金アクト

環境対応車の心臓部 パワーコントロールユニット の放熱プレートに採用



環境対応車向け放熱プレート



チーム力で「お客様の感じる価値」とグループの「強み」を融合

事業成長のための基盤整備

インド 食品・健康

東洋アルミニウム

医薬包装向け箔加工事業 子会社化

米国 自動車

日軽エムシーアルミ

米国製造拠点 能力増強

中国 電機・電子

東陽理化学研究所

中国拠点の出資持分を譲渡

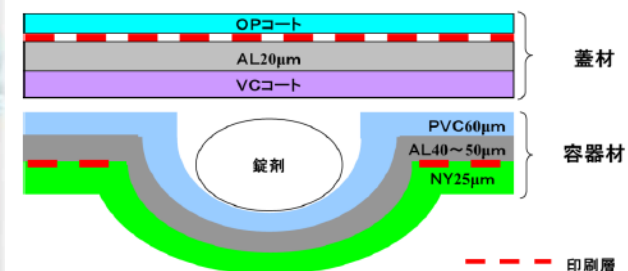


成長地域でかなえる地産地消

東洋アルミニウム インド アルミ箔加工品事業 子会社化

【概要】

- ・医薬品向け包装材料の製造・販売
- ・設立 1998年
- ・売上高 47億円(27.4 億ルピー)
2021年3 月期



【推移】

- ・2018年 株式33.4%を取得、インド市場での協業開始
- ・2021年 8月 株式17.6%を追加取得、子会社化

会社概要

- ・名称 : Svam Toyal Packaging Industries Private Limited
- ・所在地 : インド共和国 ニューデリー
- ・資本金 : 10百万円 (5.8百万ルピー)
- ・株主 : 東洋アルミニウム 51%



広がるマーケット要請に応じた能力増強

日軽エムシーアルミ 二次合金 米国拠点の生産能力増強

【背景】

- ・自動車軽量化ニーズ
米国での車体構造材用途の需要拡大

【投資概要】

- ・設備投資 6億円
- ・溶解炉及び切粉乾燥機 他
- ・2021年度中 稼働開始
- ・生産能力 40%増強
4,000t/月 → 5,500t/月



ニッケイエムシーアルミアメリカ

- ・名称 : NIKKEI MC ALUMINUM AMERICA, INC.
- ・所在地 : 米国 インディアナ州
- ・資本金 : 4.4億円 (4百万ドル)
- ・株主 : 日軽エムシーアルミ 60%、エンケイグループ 40%

板加工製品 中国拠点の出資持分を譲渡

東陽理化学研究所

東陽精密機器(昆山)有限公司への 出資持分を売却

【概要】

所在地 : 中国・江蘇省昆山市

事業内容: IT関連筐体の製造

出資金 : 2,800万ドル

社員数 : 約 1,000 人

出資比率(譲渡前): (株)東陽理化学研究所 100%

【沿革】

2006年12月 設立

2015年1月 日本軽金属(株)が(株)東陽理化学研究所に追加出資したことにより
連結子会社化



事業継承を前提に、出資持分の全てを売却（2021年10月 持分譲渡契約締結）

持続可能な社会の実現のために

統合報告書2021 を発行



統合報告書2021 QRコード

持続可能な価値提供



日軽エムシーアルミ
リサイクル事業を通じた脱炭素への
取り組み



リサイクルによるCO₂排出量低減

従業員の幸せ



日本軽金属
「くるみん」「えるぼし」の認定を
取得



当社グループにおいて発生した品質に係る不適切行為について

年月日	経緯
2021年5月14日	日本軽金属(株)名古屋工場 JIS認証取消処分
同年 6月 9日	特別調査委員会を設置
同年 7月 2日	日軽新潟(株) JIS認証取消処分

JISマーク使用の一時停止請求 2021年6月30日 日軽形材(株)岡山工場
同年 8月20日 日軽蒲原(株)

株主・投資家様およびお客様の信頼回復のために、
当社グループにおけるガバナンス、マネジメントシステム、コンプライアンス
が十分に機能するものに改善してまいります。



チーム日軽金として異次元の素材メーカーへ

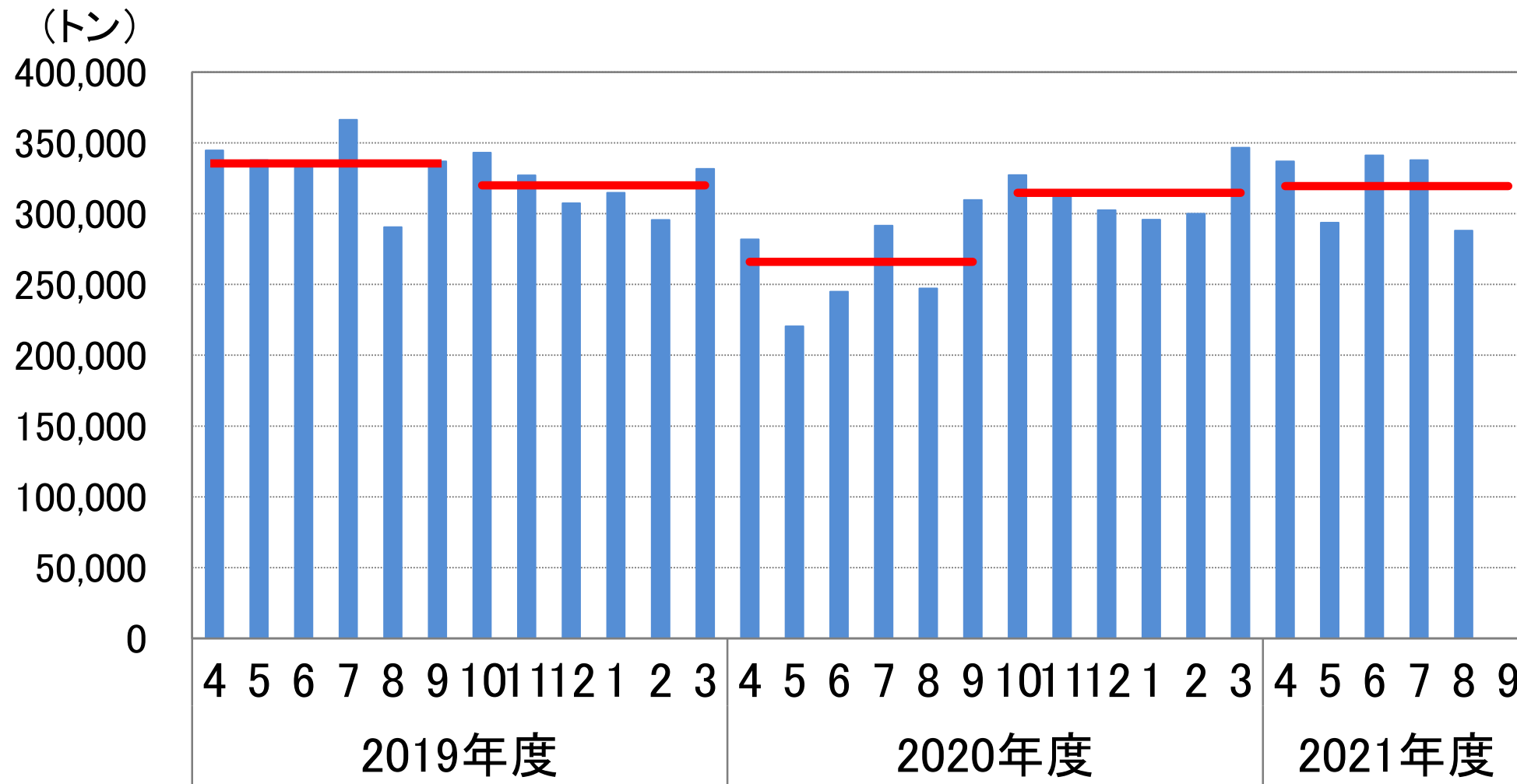


本資料についての注意事項

1. 本資料は2022年3月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
3. 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

補足資料

国内アルミ製品総需要の推移



<出所:日本アルミニウム協会>

諸元と感応度

	2020年度 実績	2021/4-9 実績	経常利益への 感応度
アルミ地金 (円/kg)	243	340	10円/kg上昇した場合 △5億円/年
為替 (円/米ドル)	106	110	10円円高となった場合 △5億円/年
ドバイ原油 (米ドル/BBL)	45	69	10ドル/BBL上昇した場合 △6億円/年

経常利益

(億円)

	2021/4-9 実績	2020/4-9 実績	前年同期比	2021/4-9 期初予想	期初予想比
経常利益	142	77	+65	120	+22

前年同期比+65億円 の内訳

営業利益	+61
為替差損益	+3
その他	+1

親会社株主に帰属する四半期純利益

(億円)

	2021/4-9 実績	2020/4-9 実績	前年同期比	2021/4-9 期初予想	期初予想比
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	108	47	+61	120	△12

前年同期比 +61億円 の内訳

経常利益	+65
特別利益	+15
税金費用	△16
少数株主損益	△3

主要会社の業績 — 前年同期比

(億円)

	2021/4-9実績			2020/4-9実績		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日 本 軽 金 属 (単体)	649	44	76	534	16	55
東 洋 アルミニウム (連結)	435	14	18	414	11	11
日 軽 エムシーアルミ (連結)	380	17	18	176	△2	△3
日 本 フ ル ハ ー フ (連結)	324	2	2	328	8	7
日 軽 金 ア ク ト (連結)	270	19	20	181	2	3

主要会社の業績－前期比

(億円)

	2021年度 予想(11/1)			2020年度 実績		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日 本 軽 金 属 (単体)	1,354	65	96	1,124	34	73
東 洋 アルミニウム (連結)	900	31	36	867	33	37
日 軽 エムシーアルミ (連結)	758	31	34	498	18	20
日 本 フ ル ハ ー フ (連結)	650	1	0	685	23	23
日 軽 金 ア ク ト (連結)	541	26	28	405	18	18

設備投資・減価償却費 — 前年同期比

(億円)

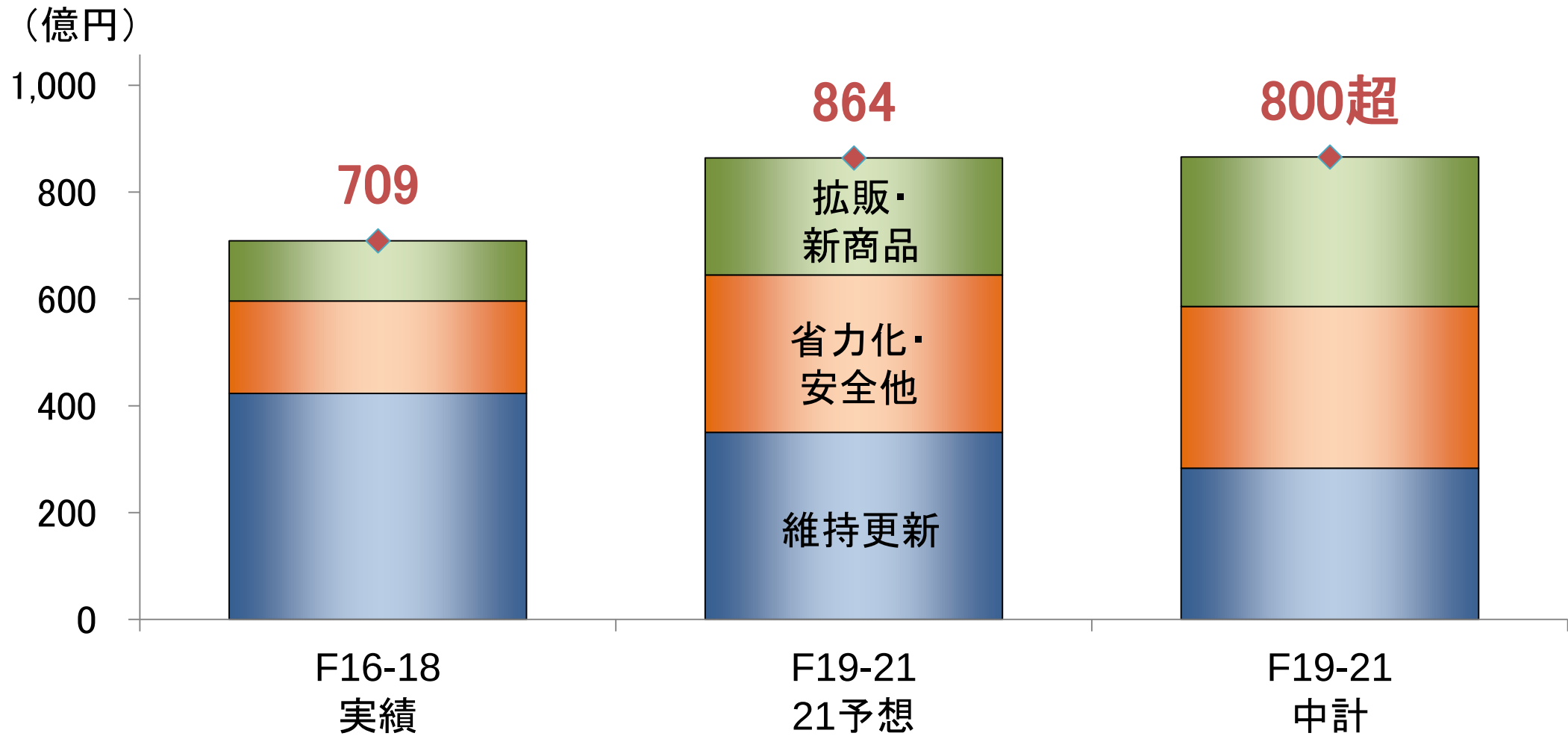
	設備投資			減価償却費		
	2021/4-9 実績	2020/4-9 実績	差異	2021/4-9 実績	2020/4-9 実績	差異
アルミナ・化成品、地金	15	19	△4	21	20	+1
板、押出製品	45	35	+10	30	28	+2
加工製品、関連事業	23	37	△14	26	24	+2
箔、粉末製品	25	21	+4	21	21	±0
合 計	108	112	△4	98	93	+5

設備投資・減価償却費 — 前期比

(億円)

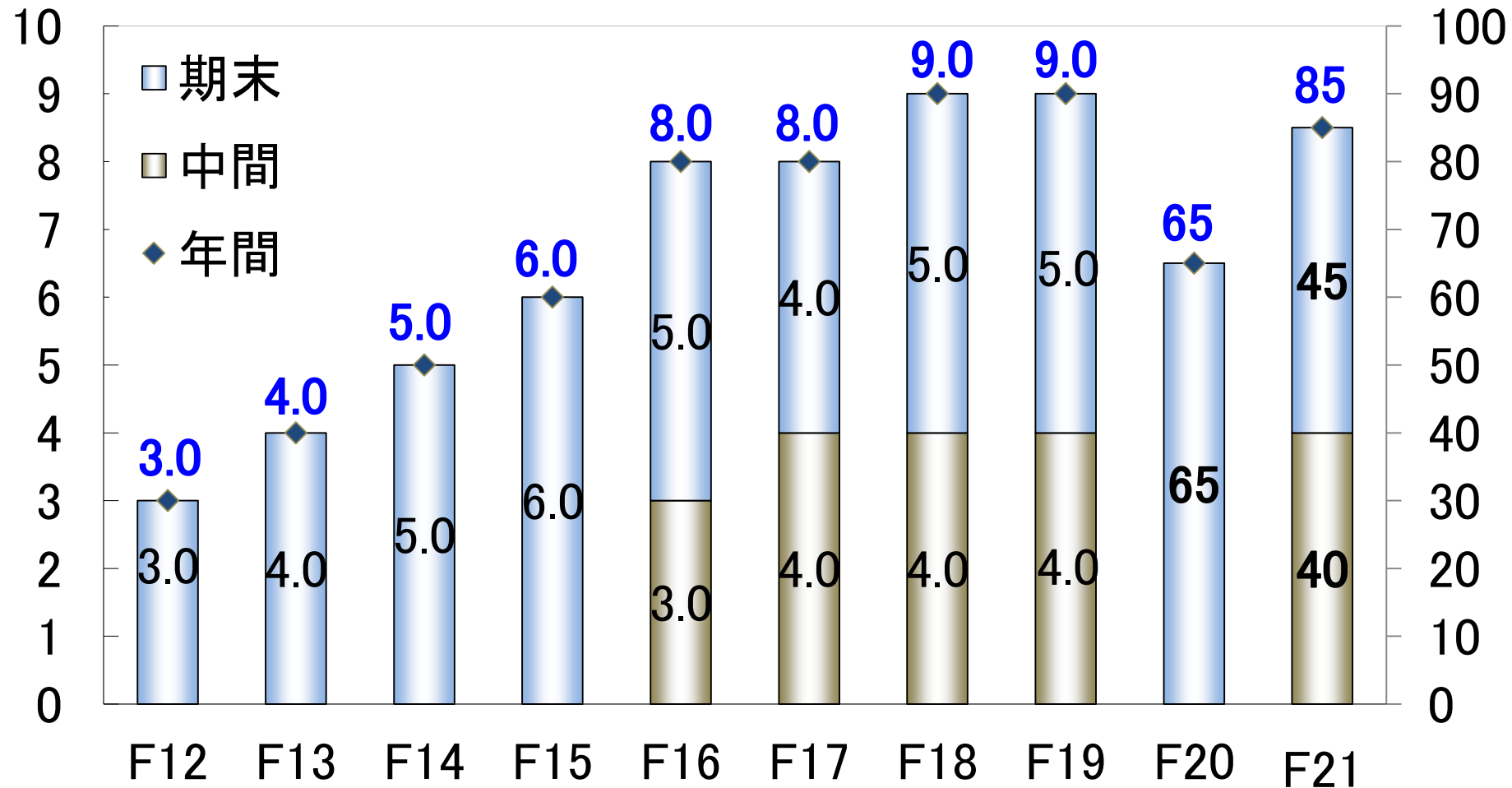
	設備投資			減価償却費		
	2021年度 予想(11/1)	2020年度 実績	差異	2021年度 予想(11/1)	2020年度 実績	差異
アルミナ・化成品、地金	101	66	+35	45	40	+5
板、押出製品	89	79	+10	56	57	△1
加工製品、関連事業	66	64	+2	52	50	+2
箔、粉末製品	50	50	±0	44	45	△1
合 計	306	259	+47	197	192	+5

19中計 進捗 設備投資



2021年度 連結業績予想 1株当たり配当金

当社は2020年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、F20、F21予想は、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。



予想

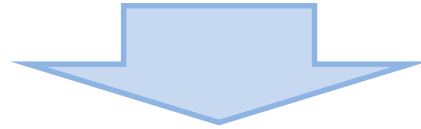
【利益配分の基本方針】

財務体質と経営基盤の強化を図りつつ、中長期的な視点から連結業績等を総合的に勘案し、株主の皆様への配当を実施

【利益配分の指標】19中計～

総還元性向30%を基準

- ・ 株主還元は着実に実施
- ・ 持続的な成長を図るため、積極的な投資を計画



- ・ キャッシュポジション、自己資本比率等を総合的に勘案し、配当水準(および株主還元手段)を選択

5つの重要課題テーマ(マテリアリティ)を選定

5つの重要課題テーマ	重要課題	SDGs関連項目		
地球環境保護	自社での温室効果ガス削減（スコープ1，2）	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を
	サプライチェーンでの温室効果ガス削減（スコープ3）			
	気候変動への対応（TCFD）			
	水ストレスへの対応			
	環境汚染の防止			
持続可能な価値提供	再生可能エネルギーの利用拡大への取組み	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
	低炭素商品・サービスの開発、提供			
	循環型経済・社会の推進			
	強靱なインフラ整備、提供	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	
	食糧の安定供給への貢献			
	イノベーションによる未来づくり			
従業員の幸せ	労働の安全衛生	5 ジェンダー平等を實現しよう	8 働きがいも経済成長も	
	働きがいのある職場づくり			
	ダイバーシティ&インクルージョン			
	人財の確保、育成			
責任ある調達・生産・供給	安全、安心な商品・サービスの提供	10 人や国の不平等をなくそう	12 つくる責任 つかう責任	
	人権の保護、尊重			
	安定したサプライチェーンの構築			
	変化に柔軟で強靱なバリューチェーン			
企業倫理・企業統治	ガバナンスの強化	16 平和と公正をすべての人に		
	コンプライアンス体制の強化			